

論壇

デジタル化へ創造的破壊

新しい首相に菅義偉氏が選ばれた。8年近く続いた安倍内閣からの移行ということで、経済政策の流れがどのように変化していくのか注目したい。

安倍内閣の経済政策の基本はデフレからの脱却ということにあった。実際、この8年の日本経済の展開を見ると、さまざまな指標で大きな改善が見られる。経済規模を示すGDPでは20年ぶりに過去最高の水準を回復した。GDP比で7%前後もあつた財政赤字を3%前後まで引き下げた。厳しい経済情勢の中でも消費税を引き上げ

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

たことが大きかった。企業の業績も大幅に回復し、株価は2倍以上に拡大した。

それでも、日本経済の成長率は上がらず、日本の産業の国際競争力は低下する一方である。国民の多くが将来に対して不安を抱え、消費も投資も振るわない状況だ。

新内閣の経済改革の行方

経済政策のどこに課題があつたのだろうか。デフレ脱却のために大胆な政策が展開され、それがある程度の成果を上げたことは事実だ。ただ、成果を上げた政策の多くは、需要喚起の政策であつた。金融の大幅緩和をし、財政でも可能な範囲で刺激的な政策をとつて

きた。これは意味がある政策だった。ただ、それはカンフル剤的なものでもある。デフレから脱却するためにはカンフル剤は必要だ。ただ、それだけで経済が持続的に回復するわけではない。

重要なことは、日本の経済が自律的に成長できるような構造変化

を起こす必要があるということだ。専門的な言い方をすれば、供給サイドからの改革が必要である。そうした変化の原動力として期待できるのは、急速なスピードで変化しているデジタル技術以外には見つからない。こうした技術革新を推進力として改革を進めることをデジタルトランスフォーメ

ーション(DX)と言う。今の日本に必要なのはDXのスピードを速めることだ。

DXによって社会のあらゆる面が変化しようとしている。働き方、教育、医療などの分野で、いまコロナへの対応ということもあつてデジタル技術を使わざるをえない状況が続いている。こうした変化の特徴は旧来の仕組みを破壊していくということだ。経済学者のシ

ンペーターの言葉を借りれば、社会が本当にイノベーションの恩恵をうけるために、「創造的な破壊」を受け入れる必要があるということだ。

政治の力で社会変革加速

菅氏は改革の重要性を前面に打ち出している。官房長官の時代から、大きな改革を進める上で主導的な役割を果たしてきた。創造的な破壊というのは政治的には非常に難しいことではある。既存の秩序や既得権益を壊すことになるからだ。しかし、政治がいまそれをやらなくても、いずれは技術革新がそうした流れをつくる。

どうせ変わる社会であるのであれば、政治の力でそのスピードを加速した方がよいだろう。コロナ危機によって、多くの人がそうした社会の変化を実感できるようになっているはずだ。新しい内閣には、コロナ危機への適切な対応を期待することはもちろんだが、それに加えてコロナ危機をきっかけにして日本社会を創造的に破壊する政治力を期待したいものだ。